

学校名	課程
鳥取県立倉吉農業高等学校	全日制課程

◆スクール・ミッション（社会的役割）

このような意義や役割を担っています

広大な農業実習地における実践的で高度な農業教育をとおして、専門的・先進的な技術を身に付け、農業経営者の育成をはじめ、農業・林業・食品・流通・環境・建設など、社会の基幹となる産業の持続的な発展を担う人材の育成をめざします。

◆農業学科（生物科・食品科・環境科）スクール・ポリシー

◇グラデュエーション・ポリシー（育成をめざす資質・能力に関する方針）

このような力を育てます

（全科共通）①人間関係形成・社会形成能力の育成 ②自己理解・他者理解・自己管理能力の育成
③課題対応能力の育成 ④キャリアプランニング能力の育成

- ・農業の基本である動物の飼育、植物の栽培を通して幅広い農業の知識及び技術を習得し、農業経営者をはじめとして地域社会で活躍できる人材を育成する。（生物科）
- ・アグリビジネスの広がりに対応し、食品の製造から流通販売にいたるフードシステムを総合的に理解するとともに農産物に付加価値を付けた経営を行うことができる人材を育成する。（食品科）
- ・自然環境と農林業・建設業の関わりの中からコミュニケーション能力や社会性を養い、環境問題を多角的に捉えて、情報技術を活かして地域環境の創造に貢献できる人材を育成する。（環境科）

◇カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

このような学びを行います

（全科共通）

- ・地域の小中学校や企業、大学等の関係機関と連携した実践的な学習活動に取り組む。
- ・各学科コースの専門的な社会人講師による学習やインターンシップにより職業観を育成する。
- ・プロジェクト学習、課題研究で、SDGsに貢献し、新たな価値を創造していく活動を行う。
- ・農業科目及び農業クラブ活動をとおして、科学性・社会性・指導性を身に付ける。
- ・ＩＣＴを活用したスマート農業の実践を学習する。
- ・技能検定、アグリマイスター、スーパー農林水産業士等の各種資格取得に向けた学習を行う。
- ・牛や豚などの家畜の飼育や馬や羊等の動物と触れ合う中で畜産に関する知識及び技術を習得する。（生物科畜産類型）
- ・野菜と果樹の栽培を通じて、園芸に関する知識及び技術を習得する。（生物科園芸類型）
- ・原材料の生産から食品の製造に関する知識と技術を習得し、HACCPやJFS-B認証制度を学習する。（食品科食品類型）
- ・生産やマーケティングについて総合的に学習し、製品の流通・販売の実践的活動を行う。（食品科流通類型）
- ・環境保全、循環型社会の形成、森林資源の有効活用及び建築に関する知識・技術を幅広く学習する。（環境科建築・森林類型）
- ・社会基盤を整備する最新のＩＣＴ建設技術や土木施工管理に関する基礎的な知識と技術を習得する。（環境科建設DX類型）
- ・快適な生活空間を創造するための草花や造園の知識・技術を技能検定や交流活動を通じて習得する。（環境科フラワー・ガーデン類型）

◇アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

このような生徒を求める

（全科共通）

- ・部活動や課外活動に意欲的に取り組んだ経験があり、入学後も意欲的に活動する意思のある者。自分の住んでいる地域が好きで、将来地元で地域貢献する意欲のある人。
- ・動植物が好きで、農業や自然科学に興味・関心があり、入学後も意欲的に学習に取り組める人。卒業後は、農業や自然科学等に関する進路を考えている人。（生物科）
- ・食品の製造や流通の安全に興味・関心があり、入学後も意欲的に学習に取り組める人。卒業後は、食品の製造・加工や流通、小売業等に関わる進路を考えている人。（食品科）
- ・森林・建築・建設・IT・草花・造園・フラワーアレンジメント・ガーデニングに興味・関心があり、入学後も意欲的に学習に取り組める人。卒業後は、環境保全や住環境等に関わる進路を考えている人。（環境科）

◆スクール・フォーカス（重点校制度における重点項目）

R 6～R 7	地域を支える専門人材育成重点校 地域連携重点校 県外生徒募集重点校
R 8～R 9	地域を支える専門人材育成重点校 地域連携重点校 鳥取ふるさと留学（県外生徒募集）重点校